

スポーツ連盟とやま

富山ウォーキングクラブニュース

第119号 (2019年 1月1日) 【発行責任者: 寺山秀行】

1月例会

初詣 姉倉比賣(あねくらひめ)神社

と 呉羽ウォーク



と き

2019年1月6日(日) 9時5分 あいの風呉羽駅前集合

集合場所

高岡駅 8:38 小杉駅 8:45 呉羽駅 8:50

富山駅 8:57 → 呉羽駅 9:02

車 旧8号線 呉羽本町(呉羽駅方面) 舞台芸術パーク東口第1駐車場(黄色のポールあり)

コース

呉羽駅⇒姉倉比賣神社⇒舞台芸術パーク散策⇒貴船神社⇒吉作⇒茶屋町
⇒富田町(住宅地)⇒呉羽駅

約7キロ(2時間 1万1千歩) ほとんど水平

お 昼

旬魚菜『じろう』 点心弁当 1,300円 富田町 ☎076-434-3206

ゴールの呉羽駅から車にて分乗 11時30分より 要 予約

参加費

会員 200円 会員外 500円

持ち物

飲み物 ウォーキングに適した服装(防寒・防雨) お金

申し込み

1月4日(金) 亀谷さん ☎・fax 0766-82-3715 or 090-9447-8259

(尚 12/31~1/3 まで留守電)

車、あい鉄、の別、弁当の希望の有無などを連絡ください。

越中国婦負郡 姉倉比賣神社

創建前史ともいうべき、うるわしい物語が伝えられている。太古、越中に姉倉比賣という姿かたちの美しい女神様がおいでになった。故あって、故郷の舟倉山から大竹野(今の呉羽町)の地へお移りになり、以後その土地の人々と力を合わせて、開拓を進められたのである。心やさしい比賣は、娘たちに機織りを教え、村人たちには仕事に精を出すように励まされたので、誰もお慕いするようになった。ここは、いづこぞ 大竹野よ 機を織ります わたくしは心もともに トンカラリ トンカラリ ここは、いづこぞ 大竹野よ 機を織ります わたくしは心もともに トンカラリ トンカラリ



明るい歌声が村中にこだまし、比賣が機を織っていると蜷ヶ森の方から貝が蝶の姿になって飛んできて比賣の仕事を助けた。このようにして大竹野は次第に開けて豊かな村になっていったのである

今年も楽しくウォーキング！ 一緒に！

寺山秀行

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。
車社会の今、ウォークとは自分の足で歩くこと。五官で風と土の匂いを感じることができ、少しは違った世界を味わえるのでは？と思います。
昨年、“ボー”としていたのでレジェンドの林さんから会長を引き継ぎました。“そだねー”の共感の声を広げたいと思います。お試し会員への誘い声かけをして会員を増やしましょう。古稀を過ぎても未熟なので色々サポートをお願いします。

12月例会りポート

国史跡 辰巳用水を歩く

高度な土木技術に感銘

今日の参加者は8名

金沢直行高速バスで金沢香林坊10時30分集合・金沢四高・近代文学館が前です。

ここからバス移動大道割まで330円。



辰巳用水とは金沢城の水利を改善するため3代藩主前田利常が板谷兵四郎に造らせたと言われ犀川上流～金沢城へ逆サイホンの原理で・江戸時代の

土木技術・重要文化財です。

上流部は10月隧道探訪するイベントがあるとのことで楽しみですね。

バスを降り整備された散策路 歩く用水に沿って有形文化財の建物・果樹園(何の実かな)竹林・マユミ・アオキの赤い実・墓地・下には町並みも見える。



→土清水煙硝蔵（つっしょうずえんしょうぐら）
五箇山とも関係あり
→錦町 用水は暗渠の中に ここまで2km
12:30着 →ランチタイム 日替わり定食

歴史ある金沢城下を歩く

街中なのに辰巳用水の遊歩道は、澄みきった用水の流れと「まゆみのピンク色の花」「紫式部」「赤い実のなる木」、りんご等の果樹園、空に向かって



伸びている竹林等が私たちの心を和ませてくれました。遊歩道は錦町で終わりです。

小立野通りに出ました。兼六公園まで続く道は、緩やかな下り坂です。途中にりっぱな山門が見える「天徳院」（三代藩主前田利常公が珠姫菩提のため創建）（珠姫は2代将軍徳川秀忠と江の次女）や、前田家の菩提寺「宝円寺」近くも通ってきました。

石引町です。この名前は、金沢城建立時に山から石を引いて通ったところから名づけられたそうです。

また、かつては飛梅（とびうめ）町だったとの案内石碑あり。紫錦台（しきんだい）中学校という昔の名前のついた学校もありました。現在は、ここ周辺は北陸学院があるところでした。

金沢くらしの博物館、金沢医療センタ（元軍人治療病院施設）、兼六園南口、成巽閣、金沢神社、県立美術館を横目に見ながら本多の森公園へ。辰巳用水分流碑があり、どんどん降りていくと「美術の小径」がありました。用水が階段に沿って滝になって流れ落ちていました。こんな所に滝が！！

(c o c o s)

午後のコースの説明を聞き 13:15
出発 ここまで記；瀧川

すがすがしい気持ちになりました。

歴史の小径を通って金沢21世紀美術館前のバス停へ到着。14:30でした。トイレ休憩もかねて、金沢21世紀美術館の玄関広場にも入ってきました。富山直行高速バスは15:07発。高岡直行高速バスは15:22発にそれぞれ乗って帰路に着きました。

途中、車窓から見た金沢駅前の噴水は「辰巳用水」からの水が使用されていること聞きました。

高度な土木技術と人力で開発された辰巳用水の遊歩道をみんなで楽しく学びながらウォークできました。

高速バスや案内内容、道順等の十分な準備のお蔭です。リーダーさん、本当にありがとうございました。今回は、下流部の企画でしたが、上流部の取水口や隧道、三段石垣への探訪見学のイベントもあると聞きました。ぜひそれにも参加したいものです。今日の歩行時間 2時間45分

歩行距離 7.5km

歩数 12,000歩 記：甲



12月例会レポート

紅葉の「藤波八丁歩道」を堪能

11月7日（水）にお試し参加のニューフェイスの二人を含め総数10名、車2台に分乗して神岡へ。

道の駅「宙ドーム」に10時に到着し歩きはじめた。広い江馬氏下館（注1）を通り高原川にかかる神岡大橋に出た。

神岡大橋のたもとに（注2）、鉾石の標本（白地鉾、杵慈鉾）から高原川左岸に沿って藤波橋までの約500mに渡って遊歩道が整備されています。この遊歩道は“藤波八丁歩道”と言われ、清流と白



い岩の流れる溪谷沿いにモミジやカエデの赤や黄色の紅葉を満喫しました。

途中、甘い香りが漂ってきました。ボ～としてもそれはいい香り“カツラの木では”と教えてもらいました。

今年は暖冬なのか？この日は遊歩道の下流では、葉が青から赤への紅葉進行中の樹が見られた。

神岡市内に帰ってきて、船津の街中を通り、昼に開店している店を探していました。

で、開店している店はわからないのであんまり期待しないで行きました。なんとその店は素晴らしい味でした。美味かったですよ。

注1）江馬氏とは、あんまり馴染がないが室町時代から戦国時代にかけての北飛騨地方を治めていた武将である。その城館跡で中世の武家屋敷跡を発掘し会所、主門、土塁、堀などが復元され国の名勝、史跡となっています。

注2）白地鉾、杵慈鉾とは、白地鉾（しろじこう）と呼ばれ、この鉾石に含まれるカドミウムが“イタイタイ病”の原因であることは、富山県民なら忘れることはないと思いますが、【記；寺山】

お知らせ

「全国ウォーキング協議会ニュース」2018年冬号と2019年全国交流ウォーキング「木曾路は山の中である」パンフレットをそれぞれ2部同封しました。

1部はお友達やウォーキングにお誘いしようと思っている方にお渡しください。